

総合的な学習の時間－１０（第６学年） 動画から情報を取り出し、分析する力を育てる事例  
【学習活動の概要】

<p>1 単元名 未来を見つめて</p>															
<p>2 単元の目標 身の回りの人と交流する中で、仕事や生き方に対する考え方などについて話を聞いたり調べたりして、未来につながる今の自分について考えようとする。</p>															
<p>3 評価規準 【かかわる力】力を合わせてビデオレターを作成するとともに、互いのよさを認め合いながら活動している。 【課題を設定する力】様々な職業に就いている人の話を聞いたり調べたりする中で、その人の生き方に触れ、自分自身を見つめ直し、自分の可能性を探るための課題を設定している。 【課題を追究する力】様々な人の生き方に触れるとともに、感じたり考えたりしたことを言葉で表現し、課題を解決しようとしている。</p>															
<p>4 教材 小学校最終学年となる6年生にとって、「人の生き方」や「自分の可能性や夢」をテーマに自分自身と向き合い、これからの自分を考えることはよい機会である。身近な人や憧れの人の職業など様々な人の働く様子や生き方を調べ、話を聞いたり、考えたりすることを通して未来につながる自分を見つめ直す学習活動を中心に展開していく。 このように様々な人の生き方を通して自分を見つめるとともに、一人一人が自分の夢や希望を持ち、自信をもって卒業してほしいと願い、本単元を設定した。</p>															
<p>5 主な学習活動 (1)単元の展開（全45時間）</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="231 1164 327 1243"></th> <th data-bbox="327 1164 813 1243">学習活動</th> <th data-bbox="813 1164 1420 1243">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="231 1243 327 1332">第一次</td> <td data-bbox="327 1243 813 1332">○身近な人はどんな仕事をしているのか調べ情報交換し合う。(10)</td> <td data-bbox="813 1243 1420 1332">・調べたことを基に、互いに調べた人同士につながりがないかを話し合う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1332 327 1467">第二次</td> <td data-bbox="327 1332 813 1467">○川崎マイスター（職人）の生き方や思いに触れる。 (10:本時 4/10)</td> <td data-bbox="813 1332 1420 1467">・予めどのような視点で話を聞くかを話し合っておく。 ・ビデオで記録し、マイスターの素晴らしいところを言葉から捉え直す。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1467 327 1545">第三次</td> <td data-bbox="327 1467 813 1545">○自分の夢や生き方について考える。(10)</td> <td data-bbox="813 1467 1420 1545">・友達からの意見を参考に、未来の自分を想像しながら憧れの職業について調べていく。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1545 327 1635">第四次</td> <td data-bbox="327 1545 813 1635">○自分についてのビデオレターを作り、互いに交流し合う。(15)</td> <td data-bbox="813 1545 1420 1635">・友達のアドバイスを受けながら、自分の願いが伝わるようにビデオレターを作成する。</td> </tr> </tbody> </table>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第一次	○身近な人はどんな仕事をしているのか調べ情報交換し合う。(10)	・調べたことを基に、互いに調べた人同士につながりがないかを話し合う。	第二次	○川崎マイスター（職人）の生き方や思いに触れる。 (10:本時 4/10)	・予めどのような視点で話を聞くかを話し合っておく。 ・ビデオで記録し、マイスターの素晴らしいところを言葉から捉え直す。	第三次	○自分の夢や生き方について考える。(10)	・友達からの意見を参考に、未来の自分を想像しながら憧れの職業について調べていく。	第四次	○自分についてのビデオレターを作り、互いに交流し合う。(15)	・友達のアドバイスを受けながら、自分の願いが伝わるようにビデオレターを作成する。
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点													
第一次	○身近な人はどんな仕事をしているのか調べ情報交換し合う。(10)	・調べたことを基に、互いに調べた人同士につながりがないかを話し合う。													
第二次	○川崎マイスター（職人）の生き方や思いに触れる。 (10:本時 4/10)	・予めどのような視点で話を聞くかを話し合っておく。 ・ビデオで記録し、マイスターの素晴らしいところを言葉から捉え直す。													
第三次	○自分の夢や生き方について考える。(10)	・友達からの意見を参考に、未来の自分を想像しながら憧れの職業について調べていく。													
第四次	○自分についてのビデオレターを作り、互いに交流し合う。(15)	・友達のアドバイスを受けながら、自分の願いが伝わるようにビデオレターを作成する。													
<p>(2)本時の学習 マイスター（職人）の仕事に対する思いや生き方から、自己の生き方に生かせることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スケート靴の職人の方のビデオを見返す。</li> <li>○職人のどこが生き方として魅力あるのか振り返る。</li> <li>○振り返ったことをグループで話し合い、大切だと思うことをランキングにする。</li> <li>○話し合いの結果をホワイトボードにまとめ、クラス全体に報告する。</li> </ul> </div>															

## 【解説】

### 【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領 第5章 総合的な学習の時間 第3の2の(2)において、「問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。」と示している。体験したことや収集した情報を、言語により分析したりまとめたりすることは、問題の解決や探究活動の過程において特に大切にすべきことである。

本事例は、フィギュアスケートの靴を作る職人（川崎マイスター）から生き方を学ぶ実践である。まず始めにフィギュアスケートの選手のビデオを見せる。その後、この選手が一人だけでは活躍できないことに気付かせ、スケート靴を作っている人の存在を知らせる。そして、このスケート靴を作る靴職人から直接話を聞き、自己の生き方について考えさせるといった展開で学習した。

指導の工夫としては、事前にどのような視点で聞くとよいか、どんなことを聞きたいかを明らかにしておいた。また、話をビデオに録画しておき、後からゆっくりと話を解釈することができるようにした。直接話を聞くことはもちろん大切である。しかし、録画したビデオを再生し、そこから丁寧に情報を取り出し、その情報を価値ある順に分析しながら自己の生き方を考えることを目指した。

### 【言語活動の充実の工夫】ービデオを使った情報の取り出しと分析ー

- ① マイスターとの出会いをビデオを視聴して振り返る。



- ② ビデオ視聴を基に、マイスターの生き方につながるキーワードを取り出す。



- ③ グループで話し合い、キーワードを価値ある順に並べる。



- ④ グループの考えをホワイトボードにまとめ、意見交換する。

#### 【子どもの学習感想から】

『目標にしている人は誰ですかという質問に対して、「自分」という答えには驚きました。将来、自分が何になっても自分を目標にしたいと思います。』

『「仕事はやればやるほど難しくなってきます。まだまだ自分の仕事に満足していません」と答える姿に、自分もそうなりたいなと思いました。』

『子どもの頃から物を作ることが大好きで、学校の工作の時間が楽しかった。絵を描くことも大変興味があったと話していました。私たちが今やっていることが将来につながると聞いて、毎日の学習も一生懸命やることが大事だなと思いました。』

講師の話を書くときには、何を聞こうかと考えることで自分の疑問や思いの整理ができる。さらには、相手に問いかけることで、自分自身のことを考え、自らの姿に気付くこともできる。体験したことを言語化して整理する際には、振り返ったり交流したりする時間を設定することが大切である。

本実践では、実際に話を聞いた後に、ビデオを使っての情報の取り出しを行った。実体験の場では聞き逃してしまった言葉に気付くなど、ビデオでの振り返りは有効であった。また、取り出した情報を序列化して考えをまとめるなど、友達との意見交換が一人一人の考えをより確かなものにしていった。

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： ②, ④